

# THE RECORD

RIAJ 社団法人 日本レコード協会

平成7年5月1日発行

RECORDING INDUSTRY ASSOCIATION OF JAPAN

〒104 東京都中央区築地2-8-9 Tel (3541)4411(代)

平成7年5月号 No. 426

## 著作権審議会マルチメディア小委員会 ワーキング・グループ 検討経過報告書に関する『要望書』を提出

当協会では、本年2月14日に著作権審議会マルチメディア小委員会ワーキング・グループがマルチメディアに係る著作権制度上の問題についての検討経過報告書を取りまとめ、公表したことを受けて、4月28日に同検討経過報告書に対するレコード製作者としての要望書を文化庁に提出いたしました。

同要望書で述べました意見の要旨は次の通りです。

◎実演家・レコード製作者の経済的権利

○放送・送信に関する権利

レコードの放送・送信一般について、許諾権を与えていただきたい。

○上演・演奏に関する権利

レコードの再生による公の上演・演奏について、レコード製作者に対し、許諾権を与えていただきたい。

○翻案権

レコードの翻案に関し、レコード製作者に著作者と同様の翻案権を与えていただきたい。

◎著作者等の権利の制限

○私的使用のための複製  
機械的又は電子的手段による複製

については、「個人的に、又は家庭内その他これに準ずる限られた範囲内における使用」といえども、著作権者、著作隣接権者の権利が原則として制限されないよう、改正をしていただきたい。

○図書館等における複製

図書館等における利用者に対する複写サービスについての権利制限を廃止し、著作者の許諾を要するものとしていただきたい。

○非営利・無料の貸与

非営利・無料の貸与に係る権利制限規定の対象から一定の著作物等の複製物(コンピュータ・プログラム、

映画、レコード、デジタル方式によ

って固定された著作物等)を除外し、

著作物等の許諾を得なければならな

いこととしていただきたい。

◎著作物等の複製の技術的制限等

○著作物等の複製の技術的制限の解

除装置等の規制

○著作物等の受信の技術的制限の解

除装置等の規制

両項目について、複製或いは受信の禁止又は制限のための技術的な措置が講じられている著作物等の複製物

或いは放送・送信について、当該措置を解除又は回避することにより複製或いは受信を可能ならしめる技術的装置を製造又は頒布する行為は、著作権侵害と見なし、民事救済及び刑事罰の対象としていただきたい。

◎著作権管理情報に関する措置

著作物等の複製物の提供又は放送・送信に際し、故意に虚偽の著作権管理情報を付与し、又は真正な情報を改ざん・除去する行為について、刑

事罰の対象としていただきたい。

◎映画に関する規定の見直し

○著作物の分類

映画の著作物に関する規定は、もと

もと劇場用映画を念頭において設け

られたものであり、より広い範囲の

著作物を含む「視聴覚著作物」等の

ような名称の分類に改めることとして

いただきたい。

○頒布権・輸入権

頒布権については、著作物及びレコード一般について現在、映画の著作物に認められている頒布権と同様の頒布権を認めいただきたい。

輸入権については、物価水準の低い国で複製された安価な正規レコードが並行輸入された場合、輸入国における同内容のレコードは市場での公正な競争を阻害され、複製権が実質的に影響を受けるので、輸入権を認めていただきたい。(以上)

## WTO設立協定締結に伴う著作権法等の改正について

昨年12月、日本政府はWTO（世界貿易機関）設立協定を批准し、今年1月1日から発効しましたが、WTOの「知的所有権の貿易に関連する側面に関する協定（TRIPS協定）」を実施するため、著作権法の改正が行われました。

この改正法は昨年12月14日に公布されましたが、施行日は政令で定められることとされており、未だ発効していません。

### 1、TRIPS協定の概要

著作権、特許、商標等の知的所有権の国際的保護のための基準及びその確保のための手段について規定するもので、著作権に関する規定の要点は次のとおりです。

①ベルヌ条約の規定する保護内容の遵守、②コンピュータ・プログラム及びデータベースの著作権による保護、③コンピュータ・プログラム、映画及びレコードの貸与に関する権利の付与、④実演家、レコード製作者及び放送事業者の保護（ベルヌ条約の遡及効の準用により既に行われた実演等も保護）。

### 2、著作権法等の改正の概要

TRIPS協定実施に伴う著作権法改正の概要は以下のとおりで

す。

#### (1) 著作権法の一部改正

①著作権法で保護される実演、レコード、放送について、既存の関係条約（実演家等保護条約他）加盟国に係るものに、WTO加盟国に係るものを含め、その範囲を拡大する。（著作権法第七、九条）

②ベルヌ条約加盟国との著作物に関する保護期間の相互主義の特例を、WTO加盟国に係る著作物にも適用する。（法五十八条）③放送における商業用レコードの使用に係る実演家、レコード製作者の二次使用料請求権の付与はTRIPS協定上の義務ではないため、WTO加盟国に係る実演、レコードには同請求権の規定は適用しない。（法九十五条）④外国原盤の商業用レコードの複製、頒布等の行為に係る罰則の適用範囲に、既存の関係条約の締約国に係る原盤に、WTO加盟国に係る原盤を加える。（法百二十一条）⑤レコード保護条約により保護義務を負うレコードについての複製権を制限する経過措置は、TRIPS協定においては制限なしの複製権が規定されていることにより、実質的

な意味を失うこととなるため、当該措置を廃止する。（法附則15条の2）

(2) 万国著作権条約の実施に伴う著作権法の特例に関する法律の一部改正

WTO加盟国を本国とする著作物については、ベルヌ条約加盟国の場合と同様、万国著作権条約の実施に伴う著作権法の特例に関する法律を適用しない。（万国特例法10条）

#### (3) その他

①改正法の実施日は、WTO設立協定発効日から1年を超えない日で、政令で定める日とする。

②TRIPS協定は既存の実演等も原則として保護するため、WTO加盟国に係る実演、レコード及び放送については、現行著作権法施行時（昭和46年1月）以後のものまで遡って保護する。

## 再販制度存続に向けて陳情活動実施

当協会、「再販プロジェクト」（座長・乙骨理事）では公正取引委員会による著作物の再販制度見直しの動きを受けて、今年の2月に公正取引委員会に対して「商業用レコード再販制度存続に関する補正意見・要望書」を提出し、また同要望書に

基づき、公取委、再販問題小委員会によるヒアリングが実施されたことは既にお知らせしましたが、その後、3月10日に文化庁に対して、また3月13日には通産省に対して、陳情を行ないました。陳情書は

1、レコードは法定再販商品です。  
2、レコードは代替性のない文化的な商品であります

3、レコードは書籍などと同じ著作物であります。

4、レコードは物価の優等生です。  
5、レコード産業は厳しい環境の中にあります。

6、レコードの再販制度は直接的間接的に消費者の利益を守るものであります。

7、レコードに対する文化的配慮をお願い致します。

以上の7項目よりなり、外国にも比類のない豊富なレパートリーの中から、消費者は全国どこでも同じ価格、同じ条件でレコードを購入できること、レコードは30年前も現在も殆ど同じ価格で販売されていることなど、それぞれ具体的な例を引いて、レコードの再販制度の必要性を強く訴える内容になっています。

更に、関連する国会議員の方々に對しても、レコードにおける再販制度の重要性に関してご理解を得られるよう陳情活動を続けています。

(一部) (邦楽系音楽等)

現地録音による「椎葉の民謡」  
ビクターエンタテインメント株式会社

宮崎県椎葉村で現在うたわれている民謡を、民俗音楽誌を四季に沿って構成し、生活と共にある民謡本来の姿をよくとらえ衰退と変質の一途にある今日の民謡の記録として、企画、録音ともに規範となるものとなり、その成果が高く評価される。



(二部) (洋楽系音楽等)

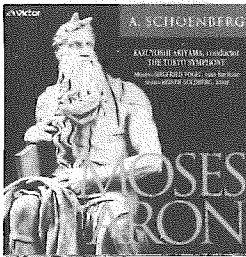
加藤元章 現代作品集I—夜は白と黒で—  
有限会社ナミ・レコード

フルート音楽の輝かしいルネサンス期といえる20世紀、驚くべき豊かな音空間と独自の時間を生んだ数々の秀作。加藤元章は、A. ジョリヴェ、P. ブレーズ、O. メシアン、L. ベリオ、伊伊桑、野平一郎、の難曲を選び、確たる読みと新しい演奏技法を超える透徹した演奏で、これらに現代の古典としての価値を倍加した。



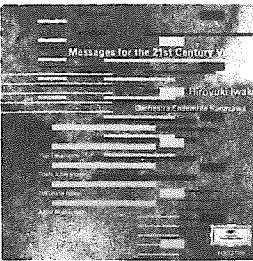
シェーンベルク 歌劇「モーセとアロン」  
ビクターエンタテインメント株式会社

最近シェーンベルクの作品と積極的に取り組んでいる秋山和慶、東京交響楽団によるこの演奏は、主役の二人はドイツ人を起用しているものの、他はすべて日本人の演奏家による初めての録音として、その成果が見事に結実している、さらに語りだけとはいえず第3幕第1場まで完全に収録していることも特色として高く評価される。



21世紀へのメッセージVol.1  
ポリドール株式会社

岩城宏之が委嘱した作曲家高橋悠治、一柳慧、新実徳英、西村朗の作品と演奏は、質は異なるが確かに現代日本の音楽の先端部分を示し、次の世紀に残すべき現代の音楽として、優れた成果を示した。



【審査の概要】

数えて第十回にあたる今年度は、一部(邦楽系)が前年度(12本)より3本少ない9本、二部(洋楽系)

は前年度(27本)より7本多い34本であった。

審査員7名による慎重討議の結果、一部の現地録音による「椎葉の民謡」

(ビクターエンタテインメント)、二部の「シェーンベルク…歌劇モーセとアロン(完全全曲)」(ビクターエンタテインメント)、「加藤元

章現代作品集I—夜は白と黒で—(ナミ・レコード)、「21世紀へのメッセージVol.1」(ポリドール)の4本を、授賞作として選出した。授賞4本という枠であり、残念ながら選外となったものにも、かなりの秀作があった。

最終審査まで残ったものは、第一部では「日本古代歌謡の世界」(日本コロムビア)、第二部では「風色スペクトル」(吉松隆ギター作品集/山下和仁)(BMGビクター)の他「庭園にて」(野田暉行作品集II)(カメライタ・トウキョウ)などがそれぞれである。

今年度は二部に注目すべき作品が多く、一部は質・量ともやや低調。殊に邦楽作品の参加が少なく、今後に期待したい。

「工業統計調査」の広報用ポスターを公募

通商産業大臣官房調査統計部では同省が12月31日現在で実施している「工業統計調査」の円滑な実施を図るため、広報用ポスターを広く一般から募集しております。

応募期限は来る6月23日。最優秀賞には大臣賞状と賞金(十万円)が贈られます。応募方法等の詳細をお知りになりたい方は、当協会広報室までお問い合わせ下さい。

# Q盤サマーキャン ペーン概要固まる

今年度も当協会の需要拡大事業の柱として、継続して推進し、一層の定着を図っていくことが決定しているQ盤キャンペーンですが、Q盤プロジェクトを中心に、サマーキャンペーンについての具体的な展開案について検討、準備が進められていきます。今回のキャンペーンは、①『CDサンプラー(各社Q盤名曲100曲より、ハイライト部分を収録)』を作成し、ユーザーに数量限定で応募により配布する。②好評だった『Q盤大辞典』に関して、今回は前回ウインターキャンペーン時に作成した辞典を増刷し、店頭用として使用する。③新譜全カタログ、CDサンプラー使用楽曲収録作品を掲載した店頭配布用チラシを作成し更なるユーザー認知を図る。

## ○役員「理事・監事」 〈新任〉

記

理事 松尾修吾(㈱ソニー・ミュージックエンタテインメント代表取締役社長)、理事 富塚 勇(ビクターエンタテインメント代表取締役社長)、同 遠藤紀世志(㈱日本音楽著作権協会理事)、監事 小杉理宇造(㈱ワーナーミュージック・ジャパン代表取締役会長)、同 中村凱夫(㈱日本音楽著作権協会理事)

## 〈退任〉

理事 出口 順(元ビクターエンタテインメント代表取締役社長)、同 加藤郁夫(元日本レコード協会専務理事)、監事 青木重之(元日本音楽著作権協会常務理事)、同 折田育造(元㈱ワーナーミュージック・ジャパン代表取締役社長)

## ○評議員

## 〈新任〉

井出信威(㈱日本音楽著作権協会法務室長)、白井 泉(㈱私的録音補償金管理協会事務局長)、小川義章(パイオニアLDC㈱常務取締役音楽事業部長)、木村敏彦(㈱徳間ジャパンコミュニケーションズ取締役音楽事業本部長)、千葉卓男(㈱日本レコード協会事務局長)

## 〈退任〉

遠藤紀世志(㈱日本音楽著作権協会)

理事) 戸板靖雄(元私的録音補償金管理協会事務局長)、舟木 稔(トールスレコード(株)取締役副社長) 三浦光紀(元徳間ジャパンコミュニケーションズ専務取締役)、浅見重治(元日本レコード協会総務部長)

## ■関係官庁人事異動

当協会関係官庁において、左記の通り人事異動がありましたので、お知らせします。( )内は前職

## 〈文化庁〉(4月1日付)

文化部長 西澤良之氏(文部省学術国際局国際企画課長)、著作権課国際著作権室長 岡本 薫氏(文部省生涯学習局生涯学習振興課企画官) 同庶務・普及登録係長 山中弘美氏(同指導普及係長)、同指導調整係長 柿澤 稔氏(日本芸術文化振興会基金部振興助成第一課舞台芸術第一係長)

なお、前文化部長福島忠彦氏は横浜国立大学事務局長、前国際著作権室長木谷雅人氏は文部省学術国際局留学生課長、前著作権課庶務係長高橋神奈男氏は文化庁文化財保護部建造物課管理係長へ、それぞれ異動されました。

◎著作権課の機構の変更がありましたので、併せてお知らせします。

庶務係 ↓ 庶務係・普及登録係  
指導普及係 ↓ 指導調整係

## 会議メモ(主なもの)

(4月1日～4月30日)

- 4・3 Q盤プロジェクト
- 4・4 消費者専門部会小委員会
- 4・4 JASRAC委員会
- 4・4 営業部会
- 4・6 法制委員会
- 4・7 技術委員会
- 4・10 レコード制作基準倫理委員会

- 4・10 TSCエキスパート会議
- 4・11 Q盤プロジェクト
- 4・11 ビデオプロジェクト
- 4・12 著作権部会
- 4・12 JASRAC委員会
- 4・13 法制委員会
- 4・14 ニューメディアプロジェクト
- 4・14 Q盤プロジェクト
- 4・18 需要拡大委員会
- 4・18 二次使用料委員会
- 4・19 洋楽企画専門部会
- 4・19 業務委員会
- 4・20 貸レコード対策委員会
- 4・20 洋楽宣伝専門部会
- 4・20 TSCエキスパート会議
- 4・21 理事会
- 4・24 TSCエキスパート会議
- 4・25 ビデオ部会
- 4・26 Q盤プロジェクト
- 4・26 JASRAC委員会
- 4・27 調査統計部会

日本レコード協会ヒットチャートデータによるランキング

平成7年3月度(2月21日~3月20日)のヒットチャートデータがまとまりました。これによる各ランクの5位までは次のとおりです。

順位	タイトル	アーティスト	発売元
<b>■邦楽・洋楽合同シングル 5位</b>			
1.	ら・ら・ら	大黒摩季	(BG)
2.	OVERNIGHT SENSATION ~時代はあなたに委ね	trf	(AV)
3.	WOW WAR TONIGHT ~時には起こせよムーヴメント	H Jungle with t	(AV)
4.	サンキュ.	Dreams Come True	(SME)
5.	強い気持ち・強い愛/ それはちよっと	小沢健二	(TO)
<b>■洋楽シングル 5位</b>			
1.	ピアノ・レッスン~犠牲者	マイケル・ナイマン	(TO)
2.	ラヴズ・ア・クレイドル ~天気予報の恋人	キャシー・デニス	(PO)
3.	オールウェイズ・ラヴ・ユー/ ビッグスト・パート・オブ・ミー	TAKE 6	(WJ)
4.	デリシャス	シャンプー	(TO)
5.	セクシー・ガール	スノー	(EW)
<b>■邦楽・洋楽合同アルバム 5位</b>			
1.	forever you	ZARD	(BG)
2.	NEVER END	ASKA	(TO)
3.	29	奥田民生	(SME)
4.	COLLECTION III	中山美穂	(K)
5.	DECADE	米米CLUB	(SME)
<b>■クラシックアルバム 5位</b>			
1.	ビジョン	リチャード・サウザー	(TO)
2.	ドビュッシー:交響詩(海), 交響曲 他	ビエール・ブーレーズ指揮 クリーヴランド管弦楽団	(PO)
3.	「ハロー・ドリー!」(サントラ)	バーブラ・ストライサンド	(MME)
4.	ザ・ヴァイオリン・プレイヤー	ヴァネッサ・メイ	(TO)
5.	NOW CLASSICS	シロス修道院合唱団 他	(TO)
<b>■洋楽アルバム 5位</b>			
1.	グレイテスト・ヒッツ ・スプリングスティーン	ブルース ・スプリングスティーン	(SME)
2.	イツ・ファイヴ・オクロック ・サムホエア	スラッシュズ・スネイクピット	(MV)
3.	マダー・ラヴ	スノー	(EW)
4.	カンヴァセーション・ピース	スティーヴィー・ワンダー	(PO)
5.	愛がかわるとき	ウエンディ・モートン	(TO)

\*日本コロムビア(C)/ビクターエンタテインメント(V)/キングレコード(K)/テイチク(TE)/ポリドール(PO)/東芝EMI(TO)/日本クラウン(CR)/徳間ジャパン(TJC)/ソニー・ミュージックエンターテインメント(SME)/日本フォノグラム(PH)/ポニーキャニオン(PC)/ワーナーミュージック・ジャパン(WJ)/アポロン(AP)/フォーライフレコード(FL)/バップ(VAP)/トランスレコード(TA)/ポリスター(PS)/アルファレコード(AL)/キティエンタープライズ(KT)/ファンハウス(FUN)/イーストウエスト・ジャパン(EW)/BMGビクター(BV)/NECアベニュー(NA)/WEAミュージック(WEA)/メルタック(ME)/ハミングバード(HB)/TDKコア(TDK)/メディアレモラス(MR)/AXEC(AX)/トイズ・ファクトリー・レコード(TF)/バンダイ(BC)/パイオニアLDIC(PI)/MCAビクター(MV)/ロッキットレコード(RO)/エイベックス・ディー・ディー(AV)/ピージーン(BJ)/ソフインレコード(ZA)/BMGルーミス(BM)/ビーグラム(BG)/ワン・アップ・ミュージック(EP)

3月度「ゴールド・アルバム」他認定作品

3月度のゴールド・アルバム他が次のとおり認定されました。

■アルバム (23作品)

●トリプル・プラチナ

forever you/ZARD (BG)

●ミリオン

DECADE/米米CLUB (SME)

MAX/マリア・キャリー他 (SME)

●ダブル・プラチナ

ヒリー・ザ・ベスト/ヒリー・ジョエル (SME)

キープ・ザ・フェイス

/ボン・ジョヴィ (MME)

●プラチナ

NEVER END/ASKA (TO)

29/奥田 民生 (SME)

GUITARRHYTHM FOREVER VOL.2

/布袋寅泰 (TO)

Everything/Mr.Children (TF)

COLLECTION III/中山美穂 (K)

フロム・ザ・クレイドル

/エリック・クラプトン (WJ)

●ゴールド

access LIVE ZEROS/access (FUN)

access LIVE ONES/access (FUN)

ah-yea-h/m.c.A.T (AV)

グレイテスト・ヒッツ

/ブルース・スプリングスティーン (SME)

イツ・ファイヴ・オクロック・サムホエア

/スラッシュズ・スネイクピット (MV)

マダー・ラヴ/スノー (EW)

スペース・カウボーイの逆襲

/ジャミロクワイ (SME)

ラヴ・ストーリーズ

/セリーヌ・ディオン (SME)

ロウ・ライク・スシII/MR.BIG (EW)

ストレンジャー/ヒリー・ジョエル (SME)

ベリー・ベスト・オブ・エルトン・ジョン

/エルトン・ジョン (MME)

カンヴァセーション・ピース

/スティーヴィー・ワンダー (PO)

■シングル (14作品)

●トリプル・プラチナ

HELLO/福山雅治 (BV)

●ダブル・プラチナ

DA.YO.NE/EAST END×YURI (SME)

ら・ら・ら/大黒摩季 (BG)

●プラチナ

MAICCA/EAST END×YURI (SME)

サンキュ./DREAMS COME TRUE (SME)

強い気持ち・強い愛/小沢健二 (TO)

KANSHAして/SMAP (V)

OVERNIGHT SENSATION~時代はあなたに

委ねてる/trf (AV)

WOW WAR TONIGHT~時には起こせよムー

ヴメント~/H Jungle witht (AV)

●ゴールド

SO.YA.NA/WEST END×YUKI (SME)

TRY ME~私を信じて~/安室奈美恵 with

SUPER MONKEY'S (TO)

MOTHER/LUNA SEA (MV)

さよならをあげる/LINDBERG (TJC)

愛を感じて/エルトン・ジョン (MME)

# 世界の話題

## ■第37回グラミー賞受賞者リスト (下)

<ラテン>  
 最優秀ラテン・ポップ  
 「SEGUNDO ROMANCE」 LUIS MIGUEL  
 最優秀メキシカン=アメリカン・アルバム  
 「RECUERDO A JAVIER SOLIS」 VIKKI CARR  
 最優秀トロピカル・ラテン・アルバム  
 「MASTER SESSIONS VOL. 1」 CACHAO  
 <レゲエ>  
 最優秀レゲエ・アルバム  
 「CRUCIAL! ROOTS CLASSICS」 BUNNY WAILER  
 <ワールド・ミュージック>  
 最優秀ワールド・ミュージック・アルバム  
 「トーンキング・ティンバク」 アリ・ファルカ・トゥーレ、ライ・クーダー  
 <ニューエイジ>  
 最優秀ニューエイジ・ミュージック・アルバム  
 「野性の祈り」 ポール・ウィンター  
 <ミュージック・ビデオ賞>  
 最優秀ミュージック・ビデオ賞 (ショート)  
 「ラブ・イズ・ストロング」 ローリング・ストーンズ  
 最優秀ミュージック・ビデオ賞 (ロング)  
 「ZOO TV ライブ・フロム・シドニー」 U2  
 <その他>  
 最優秀児童向けミュージック・アルバム  
 「ライオン・キング」 オリジナル・サウンドトラック  
 最優秀児童向け朗読アルバム  
 「THE LION KING READ-ALONG」 ORIGINAL CAST  
 最優秀コメディ・アルバム  
 「LIVE FROM HELL」 SAM KINISON  
 最優秀朗読/非音楽アルバム  
 「GET IN THE VAN: ON THE ROAD WITH BLACK FLAG」 HENRY ROLL  
 最優秀ポルカ・アルバム  
 「MUSIC & FRIENDS」 WALTER OSTANEK BAND  
 最優秀アルバム・パッケージ  
 「TRIBUTE TO THE MUSIC OF BOB WILLS AND THE TEXAS PLAYBOYS」 BUDDY JACSON  
 最優秀アルバム・パッケージ (ボックス)  
 「コンプリート・エラ・フィッツジェラッド・ソング・ブック」  
 最優秀ヒストリカル・アルバム  
 「コンプリート・エラ・フィッツジェラッド・ソング・ブック」  
 最優秀アルバム・ノーツ  
 「LOUIS ARMSTRONG: PORTRAIT OF THE ARTIST AS A YOUNG MAN 1923-1934」 DAN MORGENSTERN & LOREN SCHOENBERG  
 最優秀録音賞 (ノン・クラシカル)  
 「アイム・ア・ライブ」 (ジャクソン・ブラウン) エド・シェルニー、ポール・ディター、リック・ベネコン  
 <アレンジ>  
 最優秀インストゥルメンタル アレンジメント (ボーカルつき)  
 「サークル・オブ・ライフ」 アンドレア・クロウチ、ハンス・ジマー  
 最優秀インストゥルメンタル アレンジメント  
 「スリー・カウボーイ・ソングズ」 ティブ・グルーシン  
 <ミュージカル>  
 最優秀ミュージカル・ショー・アルバム  
 「PASSION」 ORIGINAL BROADWAY CAST  
 <ジャズ>  
 最優秀ジャズ・ボーカル

「MISTY LADY (SONGS OF BILLIE HOLIDAY)」 ETTA JAMES  
 最優秀ジャズ・インストゥルメンタル (ソロ)  
 「PRELUDE TO A KISS」 BENNY CARTER  
 (「ELEGY IN BLUE」)  
 最優秀ジャズ・インストゥルメンタル (グループ)  
 「トリビュート・トゥ・マイルス」 ロン・カーター、ハービー・ハンコック、ウォーレス・ルーニー、ウェイン・ショーター、トニー・ウィリアムス  
 最優秀ジャズ・アンサンブル (ビッグ・バンド)  
 「ジャーニー」 マッコイ・タイナー  
 最優秀コンテンポラリー・ジャズ  
 「アウト・オブ・ザ・ループ」 プレッカー・ブラザーズ  
 最優秀ラテン・ジャズ  
 「ダンソン」 アルトゥーロ・サンドヴァル  
 <作曲賞>  
 最優秀インストゥルメンタル作曲賞  
 「アメリカン・スカイズ」 マイケル・プレッカー (プレッカー・ブラザーズ)  
 最優秀映画/TVインストゥルメンタル作曲賞  
 「シンドラーのリスト」 ジョン・ウィリアムス  
 最優秀映画/TVソング作曲賞  
 「ストリーツ・オブ・フィラデルフィア」 ブルース・スプリングスティーン  
 <クラシック>  
 最優秀クラシック・アルバム  
 「バルトーク/管弦楽のための協奏曲、4つの小品」 ピエール・ブレーズ指揮 シカゴ交響楽団  
 最優秀オーケストラ演奏部門  
 「バルトーク/管弦楽のための協奏曲、4つの小品」 ピエール・ブレーズ指揮 シカゴ交響楽団  
 最優秀クラシック器楽独奏部門  
 「ニューヨーク・アルバム」 Vc: ヨーヨー・マデイヴィット・ジンマン指揮 ボルティモア交響楽団  
 最優秀クラシック器楽部門 (オーケストラつき)  
 「ハイドン/ピアノ・ソナタ第32番他」 ケント・ナガノ指揮 リヨン・オペラ管弦楽団、合唱団  
 最優秀室内音楽部門  
 「ベートヴェン、モーツァルト/ピアノと管弦楽のための五重奏曲」 Pf: ダニエル・バレンボイム  
 最優秀オペラ録音部門  
 「FLOYD/SUSAN NASH」 ステューダー・レイミー 他 ケント・ナガノ指揮 リヨン・オペラ管弦楽団、合唱団  
 最優秀合唱作品部門  
 「ベルリオーズ/荘厳ミサ曲」 ジョン・エリオット・ガーディナー指揮 オルケストル・レヴォリューション、エ・ロマンティック、モンテヴェルディ合唱団他  
 最優秀声楽部門  
 「イタリア語による古典歌曲集」 MS: チェネーリア・バリトリ、Pf: アンドラー・シュ・シフ  
 最優秀現代音楽作曲賞  
 「ニューヨーク・アルバム」 ステファン・アルバート  
 最優秀クラシック録音部門  
 コーブラッド/ミュージック・フォー・フィルム」 WILLIAM HOEKSTSA  
 年間最優秀プロデューサー  
 ANDREW CORNALL  
 <特別賞>  
 特別栄誉賞  
 エルトン・ジョン  
 特別功労賞  
 バーバラ・ストライザント、ヘンリー・マッシュニ、カーティス・メイフィールド、ペギー・リー、パッツィ・クライン  
 協会特別賞  
 ピエール・コセッティ、ネスヒ・アーティガン

1995年 3月レコード生産実績

数量：千枚・巻  
単位  
金額：百万円

表1. オーディオディスク

	3月 実績						1995年(1月~3月)累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
C	邦洋計	9,470	30	108	5,941	14	105	34,013	37	113	21,158	18	105
	邦洋計	284	1	148	140	0	123	969	1	164	397	0	110
D	邦洋計	9,754	31	109	6,081	14	105	34,982	38	114	21,555	19	105
	邦洋計	14,166	45	129	24,503	58	128	36,340	39	117	62,535	54	117
小計	邦洋計	7,600	24	106	11,581	27	110	20,932	23	119	31,642	27	122
	邦洋計	21,766	69	120	36,084	85	122	57,272	62	118	94,177	81	119
アログ	邦洋計	23,636	75	120	30,444	72	123	70,353	76	115	83,693	72	114
	邦洋計	7,884	25	107	11,721	28	110	21,900	24	121	32,039	28	122
合計	邦洋計	31,521	100	116	42,165	100	119	92,253	100	116	115,732	100	116
	邦洋計	14	0	211	24	0	255	51	0	100	97	0	146
合計	邦洋計	37	0	100	77	0	96	71	0	66	148	0	75
	邦洋計	51	0	116	100	0	113	123	0	77	245	0	93
合計	邦洋計	23,650	75	120	30,467	72	123	70,405	76	115	83,790	72	114
	邦洋計	7,921	25	107	11,798	28	110	21,971	24	121	32,187	28	121
合計	邦洋計	31,571	100	116	42,265	100	119	92,376	100	116	115,976	100	116

表2. オーディオテープ

	3月 実績						1995年(1月~3月)累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
カセット	邦洋計	2,134	99	90	1,606	98	86	5,844	98	89	4,630	98	84
	邦洋計	22	1	53	25	2	57	94	2	89	93	2	82
カートリッジ	邦洋計	2,156	100	89	1,631	100	85	5,938	100	89	4,723	100	84
	邦洋計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	邦洋計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	邦洋計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	邦洋計	2,134	99	90	1,606	98	86	5,844	98	89	4,630	98	84
	邦洋計	22	1	53	25	2	57	94	2	89	93	2	82
合計	邦洋計	2,156	100	89	1,631	100	85	5,938	100	89	4,723	100	84

表3. 複合型CD (CDグラフィックス、CD-I、CD-ROMなど)

	3月 実績						1995年(1月~3月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
邦洋計	3,485	99	280	2,197	98	198	8,060	99	248	4,773	98	155
洋盤計	23	1	100	41	2	100	45	1	27,255	98	2	22,310
合計	3,509	100	282	2,237	100	202	8,105	100	250	4,871	100	158

表4. ビデオレコード

	3月 実績						1995年(1月~3月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
ディスク	1,362	43	73	4,124	37	78	3,456	42	77	10,716	36	79
テープ	1,798	57	116	7,002	63	120	4,841	58	118	19,425	64	119
合計	3,160	100	93	11,126	100	100	8,296	100	97	30,141	100	101

表5. オーディオ/ビデオ/AV複合型レコード合計

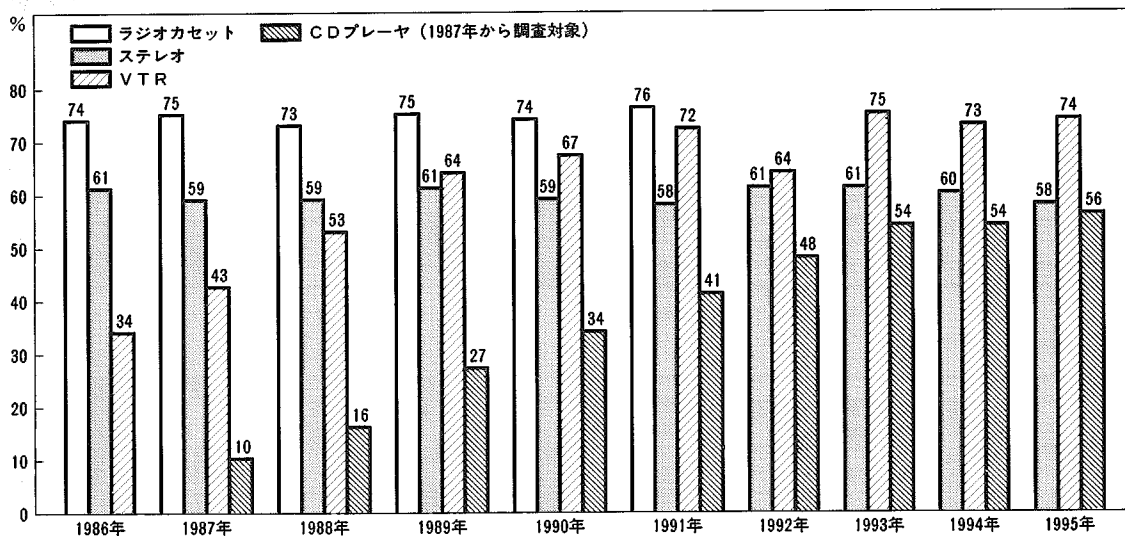
	3月 実績						1995年(1月~3月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	33,728	83	114	43,896	77	117	98,314	86	114	120,700	78	114
複合型CD	3,509	9	282	2,237	4	202	8,105	7	250	4,871	3	158
ビデオ	3,160	8	93	11,126	19	100	8,296	7	97	30,141	19	101
合計	40,397	100	118	57,259	100	115	114,715	100	117	155,712	100	112

備考 1. 本年実績は、会員会社「27社」の集計である。  
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

耐久消費財の保有状況

本号は、経済企画庁が毎年3月に全国の普通世帯を対象に行っている「消費動向調査」から、レコード産業に関連のある耐久消費財を中心に、その保有状況を紹介します。

ラジオカセット、ステレオ、VTR、CDプレーヤの普及率推移



(注) 経済企画庁「消費動向予測調査」より。ラジオカセットは92年以降調査なし。

地域別主要耐久消費財の保有状況 (1995年3月末現在)

単位: %, 台

地域		ステレオ	V T R	C D プレーヤ	ビデオ ディスク プレーヤ	カラオケ 装置	カラー テレビ	ピアノ	電子 鍵盤 楽器
全 国	普及率	57.7	73.8	55.9	15.3	15.2	98.9	22.2	16.8
	保有数	82.0	102.1	70.0	17.9	16.1	212.8	22.7	17.6
北海道 ／東北	普及率	52.6	69.6	47.5	12.8	15.7	99.2	16.7	15.0
	保有数	69.6	91.8	58.5	14.1	16.3	199.8	16.8	16.1
関 東	普及率	63.5	76.0	63.3	16.2	11.9	98.7	23.2	19.1
	保有数	95.0	106.3	82.2	19.3	12.8	206.2	24.2	20.3
北陸 ／甲信越	普及率	57.6	79.7	57.1	16.9	19.5	99.7	29.2	21.7
	保有数	87.4	115.0	76.3	17.8	22.1	247.4	29.4	23.0
東 海	普及率	60.4	75.0	57.7	14.9	13.0	98.7	24.6	15.3
	保有数	86.8	106.9	76.1	18.8	14.0	230.3	25.0	15.7
近 畿	普及率	57.8	72.6	55.5	15.4	13.5	99.5	22.5	16.8
	保有数	80.2	106.1	67.7	18.1	13.8	214.7	23.1	17.9
中国 ／四国	普及率	56.8	74.9	53.5	15.8	22.8	98.9	21.6	15.6
	保有数	80.0	103.2	62.4	18.6	23.7	231.3	22.1	15.8
九州 ／沖縄	普及率	48.5	67.7	48.8	14.9	14.7	98.3	19.0	12.3
	保有数	61.6	84.6	55.6	16.7	15.7	178.9	19.0	12.5

(注) 経済企画庁「消費動向予測調査」より。保有数は100世帯当たりの保有台数。